



ケニア国より良い生活のための 地方水衛生実施能力強化プロジェクト プロジェクトニュース⑤



学校水衛生改善活動の実施と成果（2026 年 6 月）

本プロジェクトでは、安全な水へのアクセスの改善に加え、学校における衛生環境の向上を目的として、キツイカウンティの一つの小学校において、衛生啓発活動及び水衛生施設の整備・改善を 2025 年 10 月から 2026 年 5 月にかけて実施しました。これらの活動は、2025 年 3 月に実施した学校衛生状況調査の結果（[プロジェクトニュース②](#)を参照）を踏まえ、生徒の衛生行動の改善と水因性疾患の予防を目指して実施したものです。

本活動では、ソフト面の協力として、まず、生徒を対象とした衛生ワークショップを実施しました。ワークショップでは、水因性疾患の感染経路や予防方法、石鹼を使用した正しい手洗いの方法について啓発しました。また、学校運営委員会及び教員に対する



衛生ワークショップ（左）と石鹼を使った手洗い（右）

研修を実施し、水衛生施設の適切な維持管理方法についての理解を促進しました。次に、手洗い用タンク及び液体石鹼の提供を行うとともに、現地で入手可能な材料を活用した液体石鹼の作成方法についても共有しました。そして、生徒による衛生クラブを設立し、手洗い設備の管理や衛生啓発活動を主体的に実施できる体制づくりを行いました。

ハード面の協力として、既存の衛生施設（トイレ）の改修を実施しました。具体的には、[株式会社 LIXIL の SATO トイレの設置（参考：2026 年 6 月 8 日プレスリリース「JICA と株式会社 LIXIL 協力覚書締結」](#)）、損傷した壁や床の補修、ドアの設置、スクリーンウォールの設置を行い、生徒が安心して利用できる衛生的な環境を整備しました。



取組前（左）と取組後の衛生施設（トイレ）の外観（右）



取組前（左）と取組後（LIXIL 社の SATO トイレ設置）の衛生施設の内部

活動の効果を確認するため、取組前後で調査を実施した結果、「取組後のトイレはくさくない！」といった生徒の声とともに、学校敷地内における野外排泄はほぼ解消され、石鹼を使用した手洗いの回数増加など、生徒の衛生行動に顕著な改善を確認しました。そして、他の要因も考えられますが、生徒の下痢発症率の減少傾向も確認しています。本プロジェクトでは、本学校が主体となって石鹼による手洗いや水衛生施設の維持管理を継続できるよう、今後も協力を行っていきます。